

生成 A I 研究校実践事例

学校名	都立青鳥特別支援学校（普通科・高等部）		
学年	第 3 学年	教科等	情報
単元名（2 時間）	生成 AI を活用しよう（2 時間目） 1 0 月 7 日（月）		
授業の概要	・ AI や生成 AI についてスライドを用い、理解を深める。 ・ 生成 AI の体験を通して、生成 AI の活用方法を知る。		
本時において生成 A I を活用する良さ（初回授業は不要）	・ クリエイティブなサポート ・ 作成した文章のフィードバックと改善		

本時の目標 （2/2 時間）	・ 日常生活における生成 A I の活用方法を体験する。 ・ A I や生成 A I の活用の際に注意することを理解する。	
	●主な学習活動・生徒の活用	□生成 A I の活用
本時の流れ	●「AI」と「生成 AI」についての復習。 ・ AI や生成 AI についてのスライドを見たり、話を聞いたりして理解を深める。 （主発問）より良い自己紹介文を作ってみよう	
	●自分の作った文章を修正、改善しよう。 ・ 自己紹介文を作った後、文章生成 A I にかける。 ・ 生成 A I から作った文章のフィードバックをもらい、改善する。 ・ 生成 A I を使って修正と改善を繰り返すことで、より良い文章が作れることを体験する。 ●生成 A I 使って文章を作ろう。 ・ プロンプトを入力し、生成 A I を使って自己紹介文を作る。 ・ 少ない情報量であって自己紹介文ができることを体験する。 ・ 自分が作った自己紹介文と比較することで、事実と異なる文章が生成されることに気づく。 ●振り返り ・ 生成 AI の利便性やクリエイティブな活用方法について、振り返る。 ・ 次回、授業内容の説明を受け、次回授業への見通しをもつ。	□自分が作った文章を校正する体験をする。 □自分で考えたプロンプトを入力して、作成した文章のフィードバックをもらう。 □生成 A I のクリエイティブな側面を体験する。 □一方で誤情報や事実から乖離した情報が生成されるリスクがあること知り、検証の必要性に気づく。

	使用したプロンプト例（使用予定）	出力例
1	○以下の文章を校正してください ○以下の文章をわかりやすくしてください ○以下の文章の修正してください	・誤字脱字の修正 ・言い回しの修正 ・文章を要約する
2	○以下の条件で自己紹介文を作ってください ○以下の自己紹介文の内容を充実させてください ○以下の自己紹介文はどんなことを追加すればより良くなりますか	・箇条書きから文章の生成 ・具体的な内容や表現方法の追加 ・改善案の提示

	本時において生成 A I を活用する上での配慮事項・ポイント
1	ログインやプロンプト入力に支援が必要な生徒もいる為、全体の状況をみながら進めていく。
2	生徒の実態に応じてプロンプト案を提示したり、入力の支援をしたりする。
3	繰り返し生成 A I を活用することで、良い文章ができることを実感する。生徒が修正・改善につながれようなプロンプト案や支援をしていく。